

【様式】 令和7年度 敦賀高等学校 学校関係者評価書

(問)学校評価アンケートの集計結果から見えてくる、今年度の成果と課題、および今後の改善策について

(意見を聞いた方)PTA役員8名(会長1名、副会長3名、委員長3名、会計1名)

(意見欄)

■学習支援

- ・アンケート結果から概ねの保護者の方からは、適切、ほぼ適切だという回答をもらっている点は評価できる。
- ・家庭学習の状況は、学年ごとに集計した方がより精度が上がると感じました。
- ・適切に学習支援を行っていると感じます。子供も相談しやすい環境であったと言っている。
- ・探究活動について今後も積極的に取り組める環境を続けてほしい。

■生徒支援

- ・服装や頭髪、規範意識については、もう少し、十分好ましいと感じてもらえるような支援が必要である。
- ・十分な支援が達成できていると集計結果には出ているが、対応が頼りないとの声もあるので、声に出せない子供にも目を向けられるようになってほしい。
- ・基本的生活習慣が唯一未達成項目であった。もう少し詳細な分析が必要ではないか。
- ・基本的生活習慣は学校だけでなく家庭でもフォローしていき、相互の努力で達成率をあげるべきだと考える。

■進路支援

- ・1、2年生の段階で、本人が目標を持ったり、考えたりできていることが評価できる。さらに保護者と共有してことが、夢の実現につながると思う。
- ・進学、就職に関して、情報提供のスピードやタイミングを考えることで、さらに満足度は上がると思う。
- ・2年進級時に文理選択が行われるが、この選択が大変中になっている。1年時の指導がポイントであると思う。

■情報提供

- ・情報は早さ、正確さが重要になります。さらに人によって求めるものが変わってくるので、学校はさらにスピード感をもって提供していくべきだと考えます。
- ・クラッシーでの情報提供がメインとなっていますが、重要なものは紙媒体での案内もあるので、大変満足しています。
- ・保護者懇談会の回数が少ないという意見がみられます。負担は増えるかもしれませんが、月に一度懇談会を設けてはどうか。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・アンケートの集計結果全体としては、大変良好な結果となっている。今後は、概ね良好とした回答の割合が高いので、さらに上位の回答割合が高くなるように、学校と家庭が連携して努力していくべきと考えます。
- ・ほとんどの項目において、高く評価されています。先生方と生徒との信頼関係の深さが感じ取れます。
- ・学校と保護者とのコミュニケーションが取れる機会を増やすとともにさらに良くなるのではないかと考えます。